

患部

をピンポイント

攻撃する

未来の『くすり』



池北 雅彦 先生 プロフィール

山陽小野田市立山口東京理科大学理事長

1977年 東京理科大学薬学部薬学科修士課程修了、
東京大学薬学部 (薬学博士)

1980年 東京理科大学助手、講師、助教授

2000年 東京理科大学理工学部教授

2011年 東京理科大学理事

2013年 東京理科大学筆頭常務理事

2017年 山陽小野田市立山口東京理科大学理事長
東京理科大学名誉教授

【分子標的薬とは？】

分子標的薬は、病気の細胞（がん細胞など）の表面に存在するタンパク質（受容体）や遺伝子をターゲットとして効率よく攻撃し治療するくすりです。正常な身体と病気の身体の違いや、がん細胞と正常細胞の違いをゲノムや分子のレベルで明らかにして、がんの増殖や転移に関わる分子を特異的に抑えたり、関節リウマチなどの炎症性疾患では、炎症に関わる分子を特異的に抑えたりするためのくすりです。分子標的薬は、がん細胞の増殖の速さを標的として攻撃するのではなく、がん細胞にのみ存在する特徴的なタンパク質や遺伝子を“狙い撃ち”するように開発したくすりです。高い効果が期待できると同時に、正常な細胞への副作用が少ないといった特徴があります。この講演では、患部をピンポイント攻撃する未来のくすりの現状についてお話しします。

日時：平成29年10月14日(土) 10:30~12:00

会場：山陽小野田市立山口東京理科大学

講師：薬学博士 いけきた まさひこ 池北 雅彦 先生

申込・参加費

不要